齋藤鋲螺株式会社

環境経営レポート

2024年度

対象期間　　2024年2月　～　2025年1月

発行日　　2025年 2月　18日

目　　次

1．組織の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1頁
2．対象範囲、レポートの対象期間及び発行日・・・・・・・・・1頁
3．環境方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2頁
4．　実施体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3頁
5．環境目標及びその実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4頁
6．環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容・・　5頁
7．環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果
並びに違反、訴訟等の有無・・・6頁
8．代表者による全体評価と見直しの結果・・・・・・・・・・・6頁

１．組織の概要

（１）社名、代表者名、及び本社所在地

社　名　　齋藤鋲螺株式会社

代表者　　代表取締役社長　齋藤 潤

本社所在地　　東京都墨田区立川１丁目３番地２号

（２）会社設立、及び資本金

設立年月日　昭和28年2月1日　　資本金　5,000万円

（３）事業の概要

車両及び一般用加工部品の製造および仕入販売

（４）事業所、及び認証登録範囲

事業所名	所在地	業務内容	認証登録対象該否
本 社（総務部）	東京都墨田区立川１-３-２	管理	○
江戸川事業所 （営業部･技術管理部･製造部･品質管理部）	東京都江戸川区船堀１-４-７	管理･製造･運送	○
第二倉庫（技術管理部）	東京都江戸川区松江４-20-19	管理･運送	○
つくば倉庫（営業部）	茨城県つくば市今鹿島4244-2	管理･運送	○

（５）環境保全関係の責任者、及び担当者連絡先

環境管理責任者　　所属　製造部･品質管理部（兼任）　部長　大嶋寛隆

環境管理責任者(副)　　所属　品質管理部　後藤英幸

連絡先　　TEL　03－3686－2121　　FAX　03－3686－8141

電子メール　gotou@saito-grp.co.jp

ホームページ　http://www.saito-grp.co.jp/

（６）事業の規模

項　目	単位	2021年	2022年	2023年	2024年
2017年度との売上比	%	128	146	165	170
従業員数	人	60	62	71	71
床面積	㎡	3,579	3,579	3,579	3,579

※売上比　2017年　100として基準年とする

（７）事業のための許可取得状況

東京都工場の設置の認可　第H26-0013号（平成27年2月26日）　江戸川事業所

２．対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

１）対象範囲は、「1.(4)事業所及び認証登録範囲」欄に記載する組織活動。」

２）レポートの対象期間及び発行日は表紙に記載

環境・品質基本方針

齋藤鋲螺株式会社は、創業以来「会社が栄える道は
お得意様の利便を計ることにある」を経営理念とし、
高い倫理観を持ち法令遵守はもとより、顧客の
信頼と期待に応え、高品質な製品、サービスの
提供を通じ、広く社会へ貢献します。
弊社の事業活動、製品が関わる環境側面より、
弊社が成すべきことを常に認識し、持続可能で
豊かな社会の実現を目指します。
この環境・品質基本方針達成のため、目標を設定し
継続的改善を推進します。
この方針は、全社員に周知すると共に外部にも
開示します。

２０２４年２月１日

代表取締役社長

齋藤 潤

環 境 管 理 実 施 体 制 表

改訂　２０２４年　2月　1日
作成　２０１０年　7月２０日

承 認	作 成
齋 藤	後藤

経 営 者
代表取締役社長　齋藤 潤

環境管理責任者
製造部・品質管理部（兼任）　部長　大嶋寛隆

ＱＥ管理委員会

営業部 責任者	技術管理部 責任者	品質管理部　責任者	製造部 責任者	総務部 責任者
営業部長 鶴岡和也	技術管理部長 佐藤正人	（兼任）部長 大嶋寛隆	製造部長 大嶋寛隆	総務部長 矢島秀樹
部　員	部　員	部　員	部　員	部　員

役　職	責任および権限
代表取締役社長	１．環境管理責任者の任命 ２．環境方針の制定 ３．環境経営システムの実施および管理に必要な資源の準備 ４．環境経営システムの定期的見直しの実施 ５．社内情報の外部公開可否決定
環境管理責任者	１．環境経営システムの確立、実施、維持、継続的改善 ２．代表取締役への環境経営システムの実施状況報告 ３．それぞれの業務・役割に応じ、必要な教育訓練を適切に計画・実施する ４．環境関連法規の遵守確認
部門責任者	１．環境経営システムの方針、実施計画の活動の管理および推進
ＱＥ管理委員会	１．環境経営システムの文書、記録の管理
部　員	１．環境経営システムの実施計画の実施 ２、環境活動改善の提案

（回覧ルート）

代表取締役 → 部門責任者、環境管理責任者

改版履歴

版 数	改定理由	改定月日	承認	作成者
4	組織変更に伴う改訂	2015/2/1	齋藤	佐藤
5	ＱＥ管理委員会の責任及び権限の明確化	2015/3/24	齋藤	佐藤
6	組織変更に伴う改訂	2016/2/5	齋藤	佐藤
7	組織変更に伴う改訂	2018/2/5	齋藤	倉持
8	責任者変更	2018/6/1	齋藤	倉持
9	実務状況に合わせ責任者を変更	2019/3/14	齋藤	倉持
10	組織変更に伴う改訂	2020/2/1	齋藤	倉持
11	担当者変更に伴う改訂	2021/2/1	齋藤	伊東
12	組織変更に伴い改訂	2022/2/1	齋藤	伊東
13	組織変更に伴い改訂	2023/2/1	齋藤	伊東
14	組織変更に伴い改訂	2024/2/1	齋藤	後藤

5. 環境目標及びその実績

排出係数　電力：2024年度調整後排出係数　　[評価基準] ○：目標達成　×：目標未達成

環境方針項目				年度目標（使用量）				実績及び評価	
				新基準値	2024年度	2025年度	2026年度	2024年実績値	評価
1 二酸化炭素排出量の削減	(1)電力使用量の削減	排出係数 0.457 電　力	kWh	2021年度 198,322	3 %削減 192,372	4 %削減 190,389	5 %削減 188,406	192,896	×
	(2)化石燃料消費量の削減	排出係数 2.32 ガソリン	ℓ	2021年度 10,275	3 %削減 9,967	4 %削減 9,864	5 %削減 9,761	12,000	×
		排出係数 2.58 軽　油	ℓ	2021年度 14,094	3 %削減 13,671	4 %削減 13,530	5 %削減 13,389	13,565	○
		排出係数 2.49 灯　油	ℓ	2021年度 3,122	3 %削減 3,028	4 %削減 2,997	5 %削減 2,966	3,400	×
		排出係数 3.00 ＬＰＧ	kg	2021年度 351	3 %削減 341	4 %削減 337	5 %削減 334	219	○
	Co2排出量　計（kg-CO_2）			163,032	154,871	153,274	151,678	116,521	○
2．廃棄物排出量の削減		一般廃棄物排出量の削減	kg	2021年度 6,715.5	3 %削減 6,514	4 %削減 6,447	5 %削減 6,380	11,249	×
		産業廃棄物排出量の削減	kg	2021年度 7,070	3 %削減 6,858	4 %削減 6,787	5 %削減 6,717	9,500	×
3．水使用量の削減		水道使用量	㎥	2021年度 656	3 %削減 636	4 %削減 630	5 %削減 623	716	×
4．化学物質使用量の管理		使用量の把握の維持	ℓ	2021年度 -	使用量の把握 ℓ/年	使用量の把握 ℓ/年	使用量の把握 ℓ/年	0	○
5．環境配慮製品・サービスの提供		不良廃棄個数	個	2021年度 30	15 %削減 25	15 %削減 25	15 %削減 25	0	○
6．環境教育の促進		教育実施件数	回/年	2021年度 2	実施件数 2	実施件数 2	実施件数 2	2	○

6. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

[評価基準] ○：良くできた　△：ある程度できた　×：できなかった

環境目標項目		具体的取組内容	推進責任者	結果・評価	次年度への内容
1 二酸化炭素排出量の削減	①電力使用量の削減	新規導入設備の省エネルギー検討	製造部長	×協議、検討中。	１）引き続きLED照明など、省エネ設備の設置を検討する ２)引き続き、生産効率の向上促進
		LED照明など省エネ設備設置検討	製造部長	○照明のLED化を継続中。	
		生産平準化による効率向上	製造部長	○新規サプライヤーの開拓を推進中。	
	②化石燃料消費量の削減	生産量の動向により外部委託の検討・見直し	各営業部長	○2019年３月からの4t車1輌の外部委託を継続中	１）引き続き、外部委託の検討・見直し ２）物流の効率向上による自社消費の削減
		物流の効率化の推進により、軽油・ガソリン使用量の低減	つくば営業部長	○毎朝の営業ミーティングにより、横持ちの効率化を継続中	
			江戸川営業部長	○物流（納品/横持ち）の効率化を実施	
2 廃棄物排出量削減	鉄スクラップ排出量の削減	不要・過剰在庫の発生抑制の為の改善を強化する	製造部長	○適正在庫の管理を推奨。	引き続き、不要・過剰在庫の抑制改善を継続
			各営業部長	○不動在庫品の処分を継続推進した。	
3 水道使用量の削減	水の効率的利用	水道使用量の監視と漏水の防止	管理責任者	○監視、漏水防止は継続。	１）引き続き、使用量の監視と漏水の防止 ２）節水意識の定着
		節水意識の更なる向上に努める	全社員	○節水意識は向上している。	
4	化学物質使用量の管理	PRTR対象化学物質の把握・記録	管理責任者	○新規該当品は無し。	引き続き、来期も継続
		SDSの取得及び管理の促進	管理責任者	○都度、購入先へ最新版の要求と入手。	
		塗料の使用量の把握	管理責任者	○該当塗料は全て缶ｽﾌﾟﾚｰのみ。使用本数で管理継続。	
5	環境配慮製品・サービスの提供	不良部品個数の低減	品質管理部長	○低減は、良好し各人の意識が向上した	受入検査の強化と工程内不良の把握と対策
6	環境教育の促進	勉強会の実施	管理責任者	○EA21の活動状況、ガイドラインの要点を説明した。	全体教育の実施継続

7．環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

（１）関連法規等の遵守状況

当社に関係する環境関連法規等は下記の通りであり、今年度遵守状況を確認した結果、環境関連法規への違反はありませんでした。

遵守状況確認日　2025年　2月　3日

法律名	要求事項	当社が遵守すべき事項	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物の適正処理義務	収集運搬及び中間処理事業者との委託契約締結、許可証の定期確認	○
		マニフェストの交付、返送日の確認、記録、保管	○
江戸川区　廃棄物の減量、処理に関する条例	廃棄物の抑制、減量、再利用の促進	分別・再利用による一般廃棄物の削減	○
つくば市　廃棄物の減量、適正処理に関する条例	廃棄物の抑制、減量、再利用の促進	事業系一般廃棄物の処理業者への委託契約、継続	○
東京都生活環境保全等に関する条例	工場設置の認可の申請、変更・承継の届け出	設置の認可申請、変更の届出、表示板の掲示	○
東京都生活環境保全等に関する条例（騒音・振動）	東京都騒音規制第３種区域の基準値以下	コンプレッサー、フォークリフト・トラックの運転音の抑制（60db以下）	○
	東京都振動規制第２種区域の基準値以下	ベンダー稼働時の振動の抑制（65db以下）	○
ＰＲＴＲ法	対象化学物質の管理	対象物質の使用量把握	○
消防法	少量危険物の貯蔵、取扱い	対象物の保管状況管理の徹底(規制値以下)	○
粉じん障害防止規則	溶接作業に係わる管理	保護具着用、局排設置、じん肺検診実施、処置	○
自動車ＮＯｘ・ＰＭ法	窒素酸化物及び粒子状物質の総量の削減等	ディーゼル車排出ガス規制適合車の使用	○
オフロード法	オフロード車を使用する場合　規制日以降製作車は適合車を使用	排出ガス規制適合車の使用	○
浄化槽法	年1回の浄化槽の保守点検及び清掃の実施	年1回の浄化槽の保守点検及び清掃の実施及び点検結果の確認	○
フロン排出抑制法	第1種特定製品の管理者の判断基準となる事項の遵守	エアコンの年4回の自主点検及び7.5KW以上の対象機器の専門家による点検	○

8．代表者による全体評価と見直しの結果

代表者は、今年度におけるエコアクション２１運用全体について以下の通り、評価と見直しを行いました。

項　目	内　　容		
1.見直し実施日	2025年2月4日		
2.出席者	代表取締役社長、環境管理責任者		
3.報告した情報	①環境目標達成状況、　②環境活動計画の実施及び運用結果 ③環境関連法規等の遵守状況　④外部からの苦情、要望等		
4.代表者の評価	■電力使用量は未達でしたが約50%はLooop電気を使用しておりCo2排出量はおさえられております。また、化石燃料と廃棄物が目標未達成となりましたが、全体の総Co2排出量は目標達成しております。化石燃料消費量が増加した主な原因として、増産に伴う横持ち（運送）と顧客訪問、仕入先訪問の増加が挙げられます。LED化も計画通りに進められており、今後はより一層のCo2排出削減効果が得られると期待しております。 ■環境関連法規制の遵守は確実に実行されており、近隣住民の方の苦情も発生しておりません。		
5.見直しの結果	見直し項目	変更の有無	変 更 の 内 容
	①環境方針	有・(無)	
	②環境目標	(有)・無	2025年度より2024年度実績を新基準とする。
	③環境活動計画	有・(無)	
	④環境経営システム	有・(無)	